



民主化支援関連業務(情報収集・研修支援)



事前ワークショップ（キエフ）



事前ワークショップの出席者



汚職対策ワークショップ（キエフ）



本邦研修（ウクライナ最高会議議員：福島）



本邦研修（国会議事堂を見学）

プロジェクト概要

2014年のマイダン革命後、ポロシェンコ大統領下、東部地域の問題を含む国内外の課題解決のための努力が始まった。ガバナンスの強化は、現状を改善するための政府の重要課題の一つとされている。この努力に対して日本政府は、ウクライナの民主主義の回復に対する具体的な支援として「司法制度改革や腐敗防止に資する技術協力の拡充」を表した。これを受けて、2014年9月にJICAはニーズを確認する現地調査を実施、「対ウクライナ 民主主義の回復支援パッケージ」を2015年より開始することを決定した。

これを受けて、2014年9月にJICAはニーズを確認する現地調査を実施、「対ウクライナ 民主主義の回復支援パッケージ」を2015年より開始することを決定した。JICAの下、ジャイロスは、民主主義の回復に向けて務めるウクライナ政府を支援するプロジェクトを実施した。本プロジェクトは、ウクライナに対して、行政、立法、司法及び地方政府におけるそれぞれの構造とメカニズム、選挙システム、公務員共通の価値観、公共放送システムと規則及びメディアの役割などを紹介し、民主システムの代替を提示するよう試みた。そのため、メディア、立法府、選挙及び汚職対策関連機関を対象とした研修やワークショップが日本及びウクライナにおいて実施された。ウクライナにおけるガバナンス分野の現状やその経緯を理解するために基礎情報の収集も行った。ウクライナ国家戦略研究所のイニシアチブの下、本支援パッケージの取りまとめとして、報告書が作成された。

受注形態：元請

業務内容：調査/研修支援

プロジェクト期間：2015年3月～2016年5月

プロジェクト内容：

〔目的〕
ウクライナにおける、ガバナンス体制が改善される。

〔業務範囲〕

1. 支援パッケージの対象分野における日本の経験や他国事例等に関する情報提供
2. 現地開催ワークショップ開催支援（事前・事後及び汚職対策）
3. 本邦研修実施支援
4. 本邦研修のインパクト分析のための研修員の聞き取り
5. 日本プレスセンターで催された支援パッケージ活動報告会開催支援
6. JICA-大統領府戦略研究所（NISS）による本支援パッケージを総括する最終報告書作成支援
7. 最終報告書完成発表会実施支援（現地開催）

期待される成果：

メディア（公共放送局）・立法府及び選挙関係機関（議員、議事事務局、選挙管理委員会、行政府（国家汚職対策局）、大統領府汚職対策委員会、法務省、最高会議汚職対策委員会等）に対して、日本の民主主義の発展における経験・実績、取組み、課題をウクライナに共有し、ウクライナの自助努力を支援することで、ウクライナにおいて民主主義の回復における改革・各種取組が促進される。